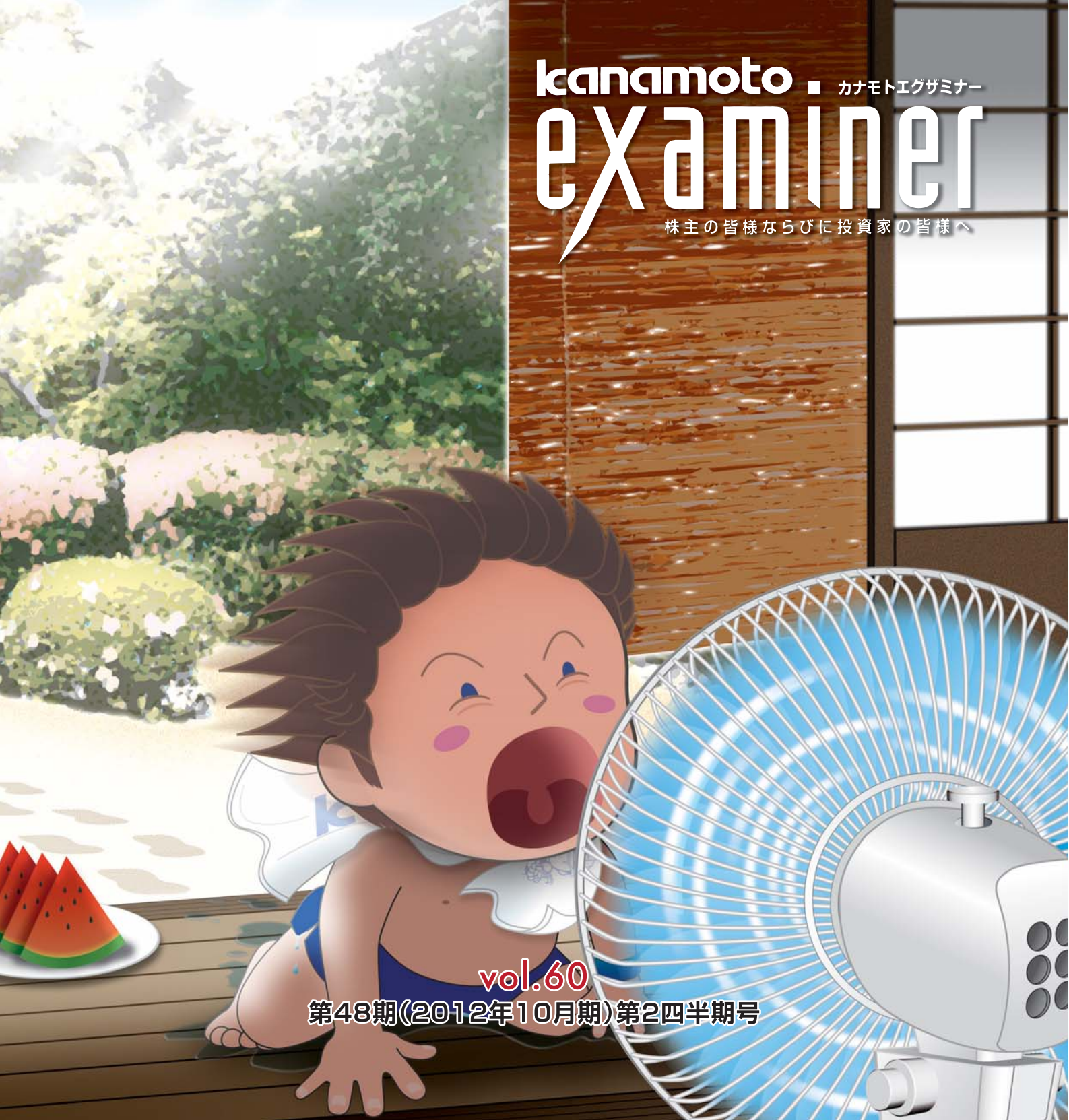


kanamoto examiner

カナモトエグザミナー

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

vol.60
第48期(2012年10月期)第2四半期号

東日本大震災の対応❺ ——復旧・復興の進捗状況

未だ瓦礫処理が続いています。
復興に向けた工事は遅れがちですが、
来たる需要増加にしっかりと対応できる準備を整えています。

株主の皆様から「被災地の復旧・復興の進捗状況を知りたい」とのご要望を数多く頂戴しています。それには、カナモトがどれだけ貢献できているのかという点も多分に含まれているものと認識しております。

後段の写真は「震災直後」「震災対応」「直近（2012年5月）」の様子を撮影したものです。定点撮影ではないので、比較するには難しいですが、震災直後に比べ、直近の写真では瓦礫が一箇所に積み上げられるなど一見片づいているように見受けられます。しかし、福島第1原発や沿岸部の近辺などまだまだ多くの瓦礫が残されている地域があるため、当社は引き続き建設機械・機材を集中的に投入するなど撤去作業に尽力する所存です。

現在、一部遅延していた幹線道路の復旧工事が進みつつあり、また各自治体による復興予算の執行が本格化する今夏以降は、港湾や河川といった社会インフラの復旧と宅地の高台移転などがさらに増加します。当社は瓦礫処理のみならず、こうした需要にも応えるべく基礎・地盤改良など当社グループの得意分野でも復旧・復興のお手伝いをしてまいります。

クレハ錦建設株式会社様から感謝状を拝受しました

福島県、茨城県を中心に南東北から関東地区で事業展開されているクレハ錦建設株式会社様（代表取締役社長：國井英一氏　本社：福島県いわき市）。地場最大手として復旧・復興工事に尽力されている同社から、本年2月に当社いわき営業所が感謝状を拝受いたしました。以下、一部抜粋となります。

感謝状

「この度の東日本大震災およびその後の困難な環境の中弊社の協力事業所として豊富な経験と卓越した技術を駆使し復旧工事に誠心誠意ご尽力をされました」

今後もお取引先様、被災地の皆様のご期待にお応えできるよう鋭意努力してまいります。

●震災直後の様子

被害の大きさを物語るように、瓦礫が方々に散乱する宮城県石巻市

建物が崩壊し、漁船が屋根に乗り上げるなど甚大な被害を受けた同県牡鹿郡女川町

●震災対応の様子

当社は震災直後から被災地への支援機材・物資搬入を実施、現在も建設機械・機材を集中的に投入。写真は瓦礫撤去作業に使用される当社建機

●直近の様子（2012年5月）

撤去作業が進み、瓦礫が一箇所に集められるなど一見片づいている宮城県の石巻市や南三陸町などの被災地。しかし沿岸部をはじめ多くの瓦礫が残されている地域があり、引き続きの復旧工事が必須

今夏以降、本格化が見込まれる港湾などのインフラ復旧工事にも、基礎・地盤改良を得意とする当社グループの“強み”を発揮し、復旧・復興の一助となるよう鋭意努力していく所存です。

TOPICS

凡例
IR IR関係　事業関係　イベント

2Q

2012.3

- IR IRフォーラム2012大阪（ツバルの森主催）に出展
- IR 第48期（2012年10月期）第1四半期決算発表
- IR 東証IRフェスタ2012に出展 📷

- IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケッツ 投資って楽しいねっ！」に出演
- イベント 空知・道北の各拠点で中古展（即売会）を開催
- イベント 3月祭 in 岩内

2012.4

- イベント 入社式／新人研修（今年度の新入社員は38名） 📷
- 事業 前橋営業所（群馬県前橋市）を開所
- IR 【札幌】上場企業合同説明会に参加（札幌証券取引所）
- 事業 広島南営業所（広島市南区）を開所
- イベント サンクスフェア2012：苫小牧を皮切りにスタート
- 事業 ユナイト株式会社の株式取得（子会社化）に関する基本合意書の締結について発表

3Q

2012.5

- イベント サンクスフェア in 江別を開催 📷

- イベント サンクスフェア in 北見を開催
- IR 平成24年10月期業績予想の修正について発表

2012.6

- IR 第48期（2012年10月期）第2四半期決算発表
- イベント サンクスフェア in 秋田を開催 📷
- IR 【東京】第48期第2四半期決算説明会を実施 📷

決算発表後、機関投資家向け説明会ならびに1on1を実施しました。取締役常務執行役員経理部長の卯辰伸人から第2四半期の決算概要や通期見通しについて、社長室広報課長の高山雄一からカナモトの今後の展開などについてご説明いたしました。

- IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケッツ 投資って楽しいねっ！」に出演
- イベント サンクスフェア in 帯広、とちぎ、新潟を開催 📷

2012.7

- IR 【札幌】ラジオNIKKEI 札幌IRセミナーに参加
- IR 【札幌】大和IRコンファレンスに参加
- イベント サンクスフェア in 登別を開催
- イベント サンクスフェア in 青森を開催

6/23、24に開催したサンクスフェア in 帯広

北海道・東北を中心に開催している「カナモトサンクスフェア2012」も残すところ岩見沢（7/14）と旭川（9/8、9）のほか、グループ企業のカンキが神戸西で開催する感謝祭（7/15）のみとなりました。ミニ建機や仮設ユニットハウスの即売会のほか、屋台や遊具、高所作業車の試乗体験など皆様にお楽しみいただける企画をご用意しておりますので、ぜひご来場をお願いいたします。

とってもいいモノ・読者プレゼント

今号のプレゼントは、「カナモト坊や」の携帯ストラップです。巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で30名様にお贈りします。
サルート（敬礼）ポーズを決めた坊やの体長は約4.5cm。右の写真はほぼ実物大です。携帯にはもちろん、カバンにぶら下げるマスコットとして、またキーホルダーとしてもお使いいただけます。カナモトの宣伝に一役買っていただける方、ご応募をお待ちしています。

（ほぼ実物大）

ご応募の締め切りは2012年8月10日（当日消印有効）です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

第48期第2四半期事業報告書 [平成23(2011)年11月1日から平成24(2012)年4月30日まで]

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
48期第2四半期	40,012 (13.3)	3,554 (106.1)	3,297 (134.1)	1,776 (—)	54.10
48期第2四半期予想 (前回発表予想値)	36,330 (2.9)	2,250 (30.5)	1,900 (34.9)	830 (—)	25.28
(ご参考) 47期第2四半期実績	35,309(△4.9)	1,724(△46.0)	1,408(△51.8)	49(△96.7)	1.50

●連結業績予想

48期通期予想	76,280(7.3)	4,710(62.1)	4,200(87.5)	2,110(81.0)	64.26
48期通期予想 (前回発表予想値)	72,610(2.1)	3,780(30.1)	3,040(35.7)	1,350(15.8)	41.12
(ご参考) 47期通期実績	71,086(1.3)	2,905 (9.7)	2,239 (7.5)	1,165(11.9)	35.51

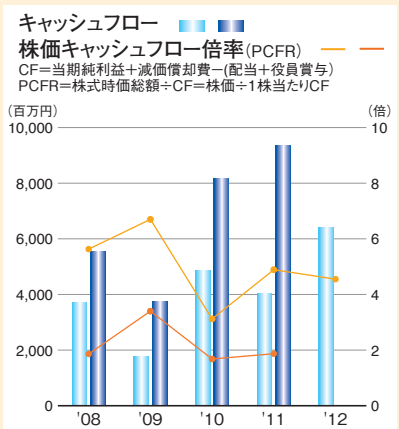
(注1)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、対前年同期増減比率(%)を示しております。
(注2)「前回発表予想値」は、2011年12月7日に公表した予想数値です。

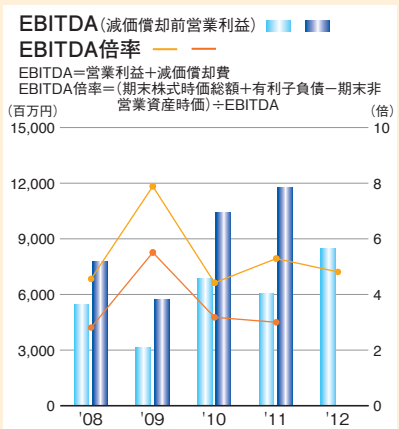
■事業種類別売上高および売上比率

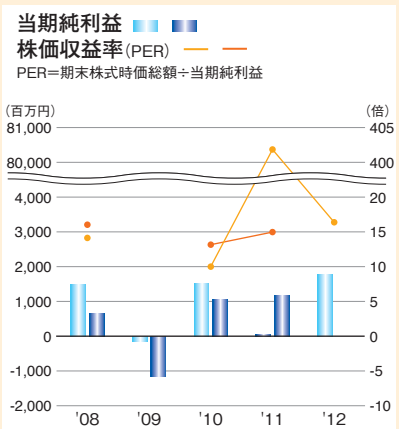
92.3% 建設関連事業 36,944百万円 (対前年同期比 14.8%増)

7.7% その他の事業 3,068百万円 (対前年同期比 2.3%減)
(鉄鋼関連事業・情報通信関連事業など)

グラフで見る5年間 (連結)







09年10月期第2四半期累計期間のPERは、当該期間に純損失を計上したため、表示しておりません。

[経営環境]

当社グループの第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復旧需要から、表面的には改善傾向を示しましたが、欧州政府債務危機による海外景気の下振れ等から、国内景気が下押しされるリスクが懸念されるなど総じて不透明な状況でありました。

当社グループが属する建設関連サービス産業においても、東日本大震災の被災地の復旧・復興工事、豪雨災害復旧といった緊急性の高い公共事業が予定される地域、或いは防災・耐震対策などの投資が見込める大都市圏においては建機レンタル等の需要が旺盛でありました。しかしながら、非被災の地方におきましては、復興予算への重点配分による公共事業予算削減の影響が徐々に顕在化、これらを補填する民間設備投資の回復の動きも弱く、全体的に需要が逓減していくなど厳しい環境が続きました。

[第2四半期の累計連結業績]

当社グループの業績は、5月28日付の業績予想の修正発表のとおりであります。東日本大震災被災三県においては、震災発生後1年が経過しましたが、未だに続く瓦礫撤去工事に加えて、遅れがちだったインフラ復旧工事も徐々に動き出したこと、また、一方で非被災地域での建設需要も、豪雨災害対策のほか、耐震対策や電力不足対応などの需要から、当初の予想に反して堅調な推移をみせました。これらのことから、第2四半期連結業績は前回発表いたしました業績予想を大きく上回る結果となりました。

当社グループにおきましては、これまでどおり資産の適正配置を進めつつ、情報化施工をはじめとする新技術や省力型新商材の採用・提供、さらに被災三県の復旧・復興支援を一義的に、同地域における拠点増強など対応能力の拡大を図りました。また、震災をきっかけに広がりをみせている建設工事以外の建機需要にも積極的に対応するなど、あらゆる側面から収益確保に取り組みました。

その結果、2012(平成24)年10月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高が400億12百万円(前年同期比13.3%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は35億54百万円(同106.1%増)、経常利益は32億97百万円(同134.1%増)でした。また、純利益は17億76百万円と大きく改善しました。

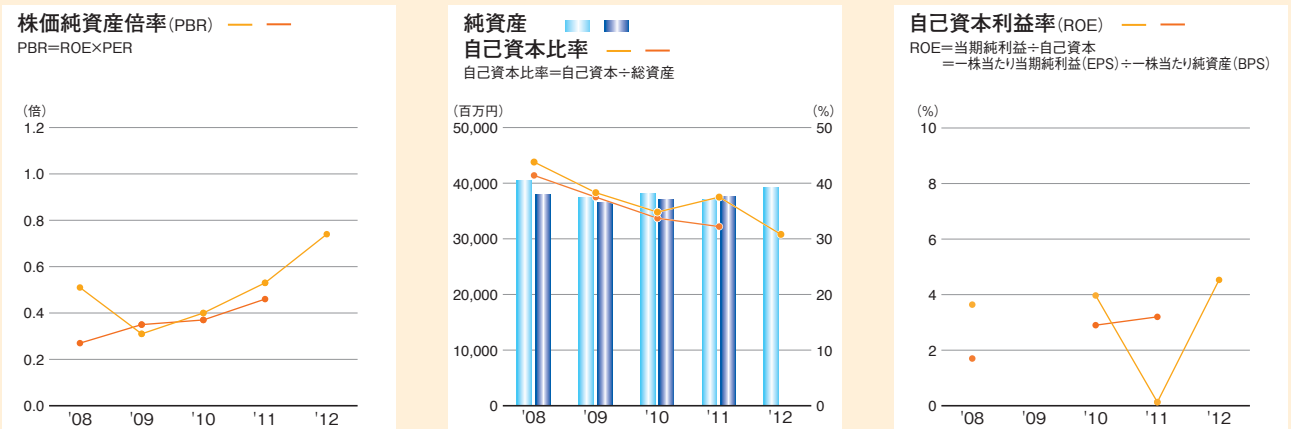
[セグメントの業績]

建設関連事業

建機レンタルの地域別売上高は、北海道地区は復興予算による官需減少の影響が出始めるなど厳しい状況にありましたが、グループ営業を強力に展開した結果、当第2四半期の売上高は前年同期比1.4%減に留める結果となりました。東北地区は震災復旧・復興工事の交通インフラ工事が徐々に増加していること、新潟の豪雨災害の復旧工事も加わりレンタル需要は強く、同50.3%増と大幅に伸長いたしました。関東地区では三環状(圏央道、外環、中央環状線)など大型プロジェクト案件のほか、防災・減災工事などの公共事業、首都圏での民間建設需要が下支えとなり同14.3%増、近畿中部地区は大都市圏での防災・減災工事と電力不足対応のための発電機需要増加も手伝って同8.4%増、九州沖縄地区は北部九州を中心とした官需により同21.0%増と大きく伸長しました。

海外の建機レンタルは、業績に占める割合は些少でありますものの、東南アジア向けのレンタルが漸増したことから同224.6%増で

グラフで見る5年間 (連結)



09年10月期第2四半期累計期間のROEは、当該期間に純損失を計上したため、表示しておりません。

ありました。なお、海外子会社の上海金和源建設工程有限公司は中国経済の停滞から前年同期比ほぼ横ばい、SJ Rental,Inc.も需要動向に変化なく同様に横ばいの結果となっています。
海外向け中古建機販売は震災復興需要に対応すべく売却を順延していることから同44.1%減となりました。
以上の結果、建設関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は369億44百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は34億11百万円（同110.9%増）でした。

その他

北海道で展開する鉄鋼製品販売事業については、札幌を中心に民間の大型工事が動き出しているものの、新規の動きは低迷気味であったことから前年同期比5.4%減となりました。一方、情報通信関連事業はパソコンを中心にレンタル需要が回復したこと、人材派遣事業も順調に推移したことから同19.6%増となりました。
以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は30億68百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は63百万円（同341.4%増）となりました。

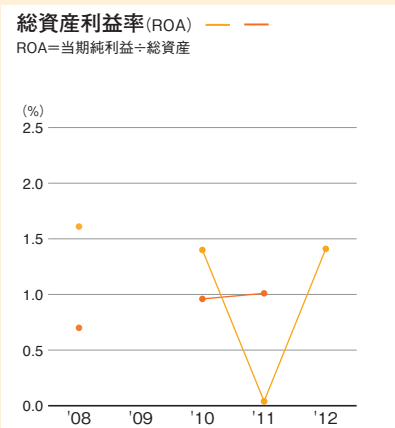
[特記すべき事業展開と拠点新設・閉鎖の状況]

当第2四半期連結累計期間における拠点の新設閉鎖は、新設は前橋営業所（群馬県前橋市高井町）と広島南営業所（広島市南区出島）の2カ所、閉鎖は上里営業所（埼玉県児玉郡上里町）の1カ所でした。

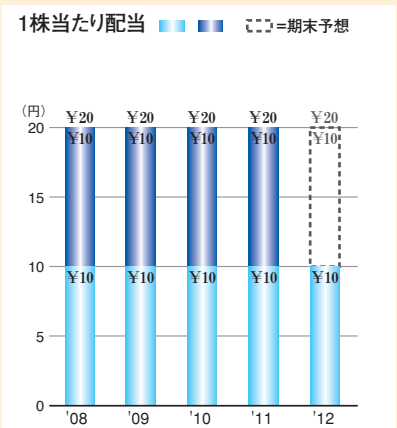
通期業績予想の修正理由（抜粋）

5月28日付で業績予想の修正発表をいたしました。

当社グループの第2四半期は、東日本大震災の復旧・復興工事が瓦礫撤去工事に加え、着工が遅れがちだったインフラ復旧工事も徐々に動き出したこと、また、非被災地域での建設需要については、第2四半期から漸減傾向にあったものの、当初の予想に反して需要は堅調な推移をみたことから、前回発表いたしました第2四半期業績予想を大きく上回る見込みとなりました。
また、下期におきましても、震災復旧・復興工事は漸増状況にあること、加えて、首都圏では既存建造物の耐震対策工事等も増加していることから、東北や関東地域での建設機械のレンタル需要は今後も旺盛であると予想されます。
しかしながら、震災地域以外の地方部においては、一部地域で民需の回復は見られるものの、総じて官需の減少傾向が徐々に顕在化しており、通期業績予想につきましては、これらの側面も考慮して修正をしております。
なお、ユナイト株式会社の子会社化につきましては、株式譲渡が6月末であることから、今回発表の通期業績予想には織り込んでおりません。



09年10月期第2四半期累計期間のROAは、当該期間に純損失を計上したため、表示しておりません。



■ 連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

(単位:百万円)	第47期第2四半期 (2010.11.1～2011.4.30)	第48期第2四半期 (2011.11.1～2012.4.30)
❶ 売上高	35,309	40,012
売上原価	24,819	27,504
売上総利益	10,489	12,507
販売費及び一般管理費	8,765	8,953
❷ 営業利益	1,724	3,554
営業外収益	153	271
営業外費用	469	528
❸ 経常利益	1,408	3,297
特別利益	46	50
特別損失	1,013	45
税金等調整前四半期純利益	440	3,302
法人税、住民税及び事業税	451	1,627
法人税等調整額	△52	△128
少数株主損益調整前四半期純利益	41	1,803
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7	27
❹ 四半期純利益	49	1,776

連結包括利益計算書(累計)

(単位:百万円)	第47期第2四半期 (2010.11.1～2011.4.30)	第48期第2四半期 (2011.11.1～2012.4.30)
少数株主損益調整前四半期純利益	41	1,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	267	190
為替換算調整勘定	5	13
その他の包括利益合計	272	203
四半期包括利益	314	2,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318	1,967
少数株主に係る四半期包括利益	△4	39

Point

東日本大震災被災三県において、瓦礫撤去工事に加えて、インフラ復旧工事が徐々に動き出したこと、非被災地域でも豪雨災害対策のほか、耐震対策や電力不足対応などの需要が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比13.3%増、営業利益は同106.1%増、経常利益は同134.1%増となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)	第47期第2四半期末 (2011.4.30)	第48期第2四半期末 (2012.4.30)
(資産の部)		
流動資産	39,383	44,805
固定資産	72,576	80,791
有形固定資産	66,208	75,362
無形固定資産	525	282
投資その他の資産	5,842	5,146
❺ 資産合計	111,959	125,597
(負債の部)		
流動負債	40,422	41,912
固定負債	34,457	44,457
負債合計	74,879	86,370
(純資産の部)		
株主資本	36,141	38,360
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	15,509	17,729
自己株式	△25	△26
その他の包括利益累計額	376	347
その他有価証券評価差額金	414	389
為替換算調整勘定	△38	△41
少数株主持分	561	519
❻ 純資産合計	37,079	39,227
負債純資産合計	111,959	125,597

連結キャッシュ・フロー計算書

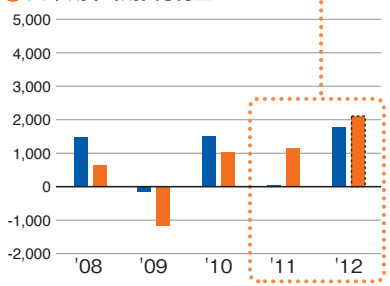
(単位:百万円)	第47期第2四半期 (2010.11.1～2011.4.30)	第48期第2四半期 (2011.11.1～2012.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,623	9,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	△701	△226
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,035	△5,027
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,887	4,314
現金及び現金同等物の期首残高	20,751	20,374
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△32
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,638	24,657

Point

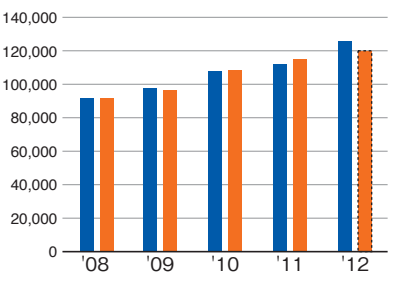
前期は震災の影響を受けた営業所建物やレンタル用資産(建機等)が罹災、この罹災相当額を損失計上しました。当期は業績が堅調な推移をみせたこともあり、四半期純利益は17億76百万円(前年同期は49百万円)と大きく改善しました。

第2四半期 通期 予想値 単位:百万円

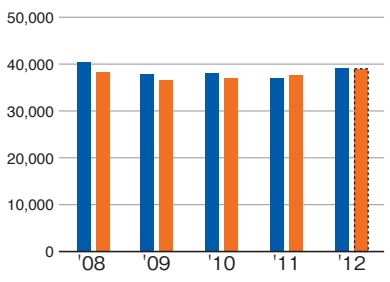
❹ 四半期(当期)純利益



❺ 総資産



❻ 純資産



株主様からのご質問に答える Q & A コーナー

いつもアンケートハガキをご返送いただきありがとうございます。皆様から頂戴したご質問にお答えするのがこのQ&Aコーナーです。
ご意見、ご要望がございましたら、巻末のハガキにご記入のうえ、ご返送ください。

Q サンクスフェアは、関東や関西では開催しないのですか。ぜひ行ってみたいと思っています。

A 以前から同様のご質問、ご要望をたまわっており、都度、地域担当にも伝えておりましたが、北海道、東北の営業拠点と異なり手狭な拠点が多いため、皆様にご満足いただけないのではとの判断から開催には至っておりませんでした。
とはいえ、現在のサンクスフェアの前身は大阪で開催されておりますので、それぞれの地域で開催に向け、計画案を立案中とのことです。お楽しみに。
なお、関西においてはグループ企業のカンキが7月15日に神戸西営業所で開催いたします。九州では第一機械産業が6月9・10日に開催、好評のうちに終了いたしました。
今後は当社HP(www.kanamoto.co.jp)でグループ会社のイベントも紹介いたしますので、お近くで開催の際はぜひご参加ください。

ミニ建機の即売会のほか、屋台や建機の試乗体験、餅まき(写真左:北見)などアミューズメントも充実。写真右は第一機械産業で開催されたフェア

取扱商品のご紹介
一般停電用予備発電機・非常用自家発電装置

今回ご紹介するのは、停電による被害を最小限に抑える「一般停電用予備発電機」「非常用自家発電装置」です。

Lineup

"突然の停電"への備えとして、カナモトは「一般停電用予備発電機」「非常用自家発電装置」各種をご用意しています。極小スペース型から高出力の大型タイプまで、いずれも停電からわずか40秒で送電を開始する高機能。使用場所の環境にも十分配慮した低騒音型設計となっています。工場、オフィス、病院、学校、ホテルなどさまざまな場所で、屋内・屋外などあらゆるコンディションに対応する「緊急時の心強い味方」をお届けします。

設置からメンテナンスまで、カナモトがトータルサポート!

株価チャート（週足）

株主メモ（2012年4月30日現在）

資本金	96億9,671万円（払込済資本金）
発行株数	32,872千株（発行済株式の総数）
事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
株主総会	毎年　1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年　10月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年　10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年　4月30日
公告の掲載	当社ホームページ、日本経済新聞*

*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。
http://www.kanamoto.co.jp または **http://www.kanamoto.ne.jp**
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同郵便物送付先及び電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137−8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711（フリーダイヤル）

株価および売買高（東証分のみ。単位：円、出来高は千株）

	始値	高値	安値	終値	出来高
2011年 6月	560	596	511	595	2,032
7月	597	612	586	598	1,307
8月	601	601	488	508	1,875
9月	515	564	490	543	2,534
10月	540	563	520	531	2,846
11月	526	534	456	494	1,446
12月	510	603	497	601	3,078
2012年 1月	610	745	605	717	4,490
2月	718	942	712	905	5,741
3月	900	997	844	984	8,193
4月	990	1,008	880	885	5,070
5月	872	876	714	781	5,255

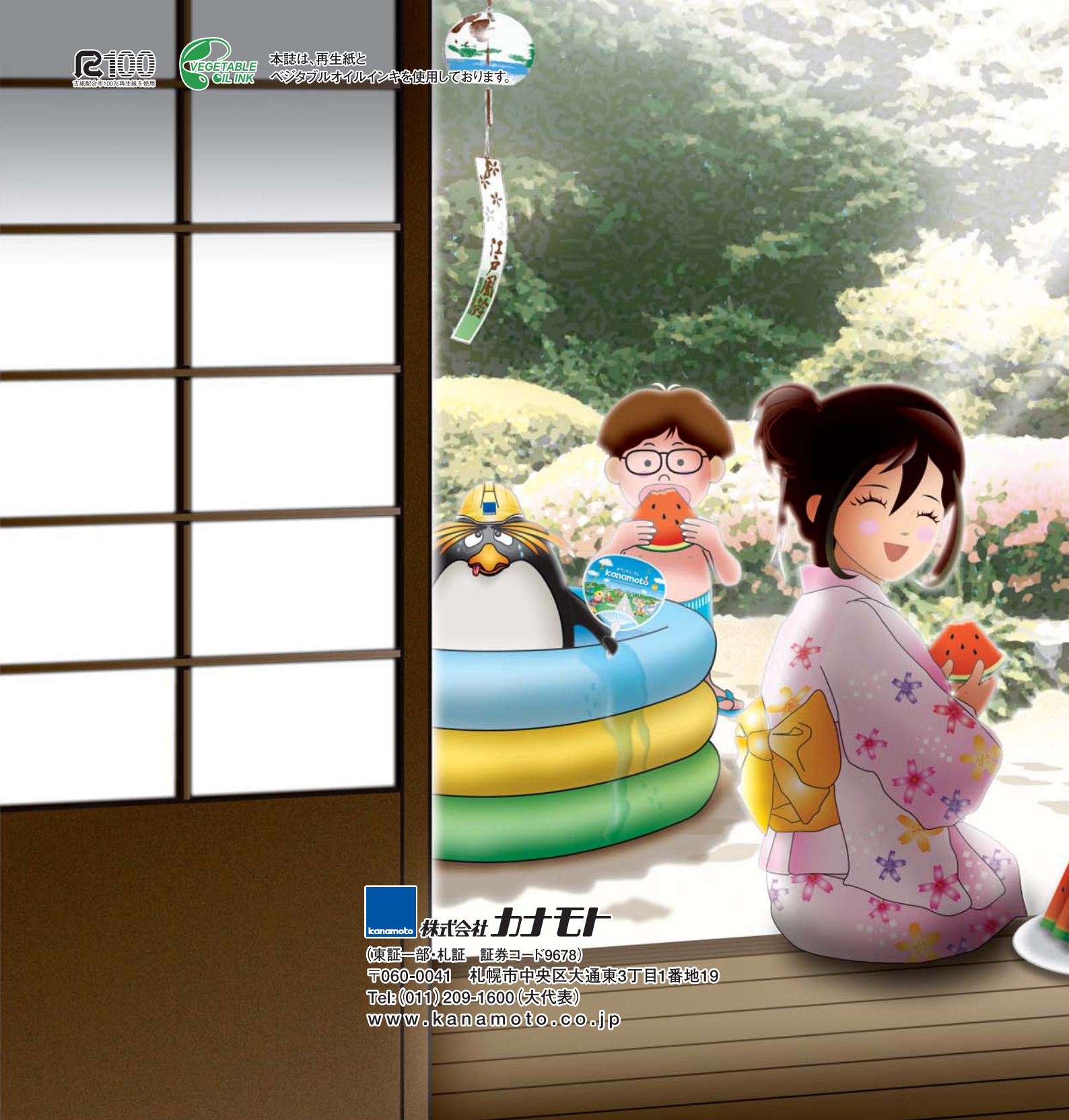
株式に関する各種お手続きについて

（1）株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
（2）特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
（3）未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 編集後記 ●

第2四半期決算は増収増益で終えることができました。ラジオNIKKEIではパーソナリティの櫻井英明氏に「下期は随分と控えめだけど、これまで何度も上方修正しているよね?」と責められました。確かに、東日本大震災の被災地域では相変わらずがれき撤去工事が続いており堅調ではあります。しかし、未だに復興工事は本格化していません。それに公共工事予算が昨年度と比較すると8.1%も少なくなっているため、なかなか強気な数字を語れないのです。とはいえ、全国各地で防災対策予算が執行され、東京では首都高の震災対策工事が盛んです。それに大都市の民需も出ています。カナモトグループでは総力を挙げて、皆様のご期待に添えるよう頑張っていますので、引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。
ところで、小誌本号はカラーに戻りました。何故かといえば第60号目だからではなくて、単色でもカラー印刷でも価格が変わらないんです。世の中どうなってるんでしょう。ということで、見やすさ重視でカラーにした次第。
さて表紙は、お爺ちゃんお婆ちゃんちに行った夏休みを思い出してみました。読者諸兄もやられたことあるでしょ、扇風機の前の「あああ〜」？　今年の夏は今の処涼しげですが、暑くなっても扇風機で乗り切りましょう。kc

本誌は、再生紙と
ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社カナモト
(東証一部・札証　証券コード9678)
〒060-0041　札幌市中央区大通東3丁目1番地19
Tel:(011)209-1600(大代表)
www.kanamoto.co.jp